



第8章 各地区におけるまちづくりの方向性

1 中心地区

(1) 目標

中心地区は、都城圏域約25万人の経済・文化の中心として、広域で多様な都市サービスを提供するリーディングエリアとして、また、住む人にとって、生活レベルのサービスが身近に享受できるエリアに位置づけており、まちなか・まちなか郊外の定住・交流魅力向上を目標としています。（都市計画マスタープラン）

【テーマ】

都城の顔として、誰もが訪れ住みよいまちづくり

(2) 拠点の位置づけ

住・職・食・買・医・遊と高度な都市機能が集積する場として、利便性が最も高い地域である中心拠点と、その周辺にみどり豊かでゆとりある居住地が存在しており、まちなかを補完する各種施設の適正確保を図る市街地系生活拠点により構成されています。

様々な都市基盤が整備され、雇用や購買、産業のための都市利便性が高い地域であり、インフラ整備も進められた地域です。

また、都城志布志道路が整備中であり、地区内には既に平塚IC、五十町IC、今町ICが設置されているほか、横市地区には横市ICが設置される予定であり、周辺的生活利便性が向上しつつあります。

(3) 公共交通

まちなかの公共交通については、JR都城駅及び西都城駅を核とした路線バス網が充実しており、特に、国道10号沿線は、市内各地から路線バスが高頻度で運行しているため、拠点的バス停における利用しやすい環境の充実に向けた方策を検討します。

(4) まちづくりの方向性

中心拠点では、市の中核的な施設を中心に、広域的施設や生活サービス施設の適正配置を目指し、商業、医療、図書館等を誘導施設と位置づけ、交流人口の増加を促進する施策を検討します。

市街地系生活拠点では、まちなかを補完し、市中心部を構成する各種施設の適正確保を目指すため、商業、医療機能を誘導施設と位置づけます。

2 沖水地区

(1) 目標

沖水地区は、中央北エリアとして、中心市街地との役割分担を考慮した国道10号沿線を中心とする産業振興ゾーンに位置づけており、多様な都市活動との調和と更なる飛躍を目標としています。（都市計画マスタープラン）

【テーマ】

広域交通の利便性を活かして新たな活力を育み、住みやすさが実感できる
住・農・商・工が共存するまちづくり

(2) 拠点の位置づけ

みどり豊かでゆとりある居住地であるとともに、まちなかを補完し市中心部を構成する各種施設の適正確保を図る市街地系生活拠点です。

様々な都市基盤が整備され、大規模な工場や店舗、自動車販売ディーラー店等が立地している都市利便性の高い地域であり、インフラ整備も進んでいます。

さらに、沖水地区では都城志布志道路を整備中であり、地区内には高木IC（仮称）、都北IC（仮称）が設置され、既存の都城ICと直結される予定であり、開通後は更なる生活利便性の向上が期待されます。

(3) 公共交通

九州縦貫自動車道宮崎線を運行する高速バスのバス停が地区内にあり、中心市街地から当地区を繋ぐ国道10号沿線においても、路線バス等の利便性が高い地域です。

このような地域特性を踏まえ、持続可能な地域公共交通網の形成に向けた方策を検討します。

(4) まちづくりの方向性

本市の基幹産業である農林畜産業も比較的盛んな地域で、各集落で営農法人等を設立し、農産物の大規模な営農を進める等の取組を行っています。

一方、都市機能誘導区域においては、文化施設や地区公民館、専門学校等が区域外に立地していますが、商業、医療、金融、高齢者福祉、児童福祉等がほぼ充足しています。

市街地系生活拠点として、その周辺のみならず広域的な範囲の暮らしを支える機能の維持を目指すため、中心拠点を補完する商業、医療機能を誘導施設と位置づけ、更なる住みやすさの向上を図ります。



3 中郷地区

(1) 目標

中郷地区は、南部エリアとして、豊かな水環境と共生するエリア、また、山岳景観・自然と点在する地域資源を活かした交流レクリエーションエリアに位置づけており、生活サービス機能の維持と地域コミュニティ活動の連携、自然と歴史を活かした住みよい田園まちづくりを目標としています。（都市計画マスタープラン）

【テーマ】

金御岳や里山に抱かれた美しい水環境を守り、
人との繋がりを感じながら暮らせるまちづくり

(2) 拠点の位置づけ

農とみどりを中心とした田園居住地として、その個性を活かしながら、一定の利便性を確保することにより、定住と滞在による複合的な田園居住地の維持を図る田園系生活拠点です。

さらに中郷地区では都城志布志道路の梅北 I C や金御岳 I C が設置されており、生活利便性が向上しつつあります。

(3) 公共交通

まちなかと中郷地区を連絡し、一部区間が鹿児島県にまたがる路線バスや乗合タクシーが運行しています。

このような地域特性を踏まえ、持続可能な地域公共交通網の形成に向けた方策を検討します。

(4) 中山間地域対策

人口減少や高齢化が比較的進行している地域ですが、市街地を一望できる金御岳ではハンググライダー等のスカイスportsが盛んであるとともに、地区全体で歴史的にも多くの史跡が残されています。これらの歴史資源を活かした伝統文化の継承も盛んで、正応寺地区では地域住民による農業を主体としたまちづくりに積極的に取り組んでいます。

本市の基幹産業である農林畜産業も比較的盛んな地域で、地元の農業者により優良農地や大規模な畜舎等も維持されていることから、今後もその地域特性を活かし、中山間地域対策を推進します。

買い物困難地区の救済措置として、買い物支援カーが運行されるなど、日常生活を送る上で必要なサービスが提供されているため、今後も地区全体における生活利便性を確保するための取組を促進します。

(5) まちづくりの方向性

都市機能誘導区域においては、行政施設、児童福祉施設、中学校は立地していますが、商業、医療、金融施設は分散して立地しています。

このような地域特性を踏まえ、地区内の日常生活サービス施設の機能維持を目指し、商業、医療を誘導施設と位置づけ、地域社会をけん引する地域生活拠点として既存の機能を維持するとともに誘導施策を進めます。

4 志和池地区

(1) 目標

志和池地区は、中央北エリアに位置づけた、田園・都市居住と多様な都市活動が混在するエリアです。また、周辺環境と融合・調和した居住環境の形成を図るために、混在する都市活動の改善を図りながら、安全で快適、便利な居住環境の創出を目標としています。（都市計画マスタープラン）

【テーマ】

広域交通の利便性を活かして新たな活力を育み、住みやすさが実感できる
住・農・商・工が共存するまちづくり

(2) 拠点の位置づけ

農とみどりを中心とした田園居住地として、その個性を活かしながら、一定の利便性を確保することより定住と滞在による複合的な田園居住地の維持を図る田園系生活拠点です。

(3) 公共交通

西部にはJR万ヶ塚駅があり、中心市街地から沖水地区、志和池地区、高崎地区を繋ぐバス路線網が形成されています。

このような地域特性を踏まえ、持続可能な地域公共交通網の形成に向けた方策を検討します。

(4) 中山間地域対策

人口減少や高齢化が比較的進行している地域であります。一般廃棄物最終処分場の跡地に多目的広場を整備し、志和池中央ふれあい広場として市内外から利用されています。

また、既存のリサイクルプラザで毎年開催されている「環境まつり」は、本市の一大イベントとして市民に定着しており、「環境」をテーマとしたまちづくりに地区住民も積極的に取り組んでいます。

本市の基幹産業である農林畜産業も比較的盛んな地域で、地元の農業者により優良農地や大規模な畜舎等も維持されていることから、今後もその地域特性を活かし、中山間地域対策を推進します。

買い物困難地区の救済措置として、買い物支援カーが運行されるなど、日常生活を送る上で必要なサービスが提供されているため、今後も地区全体における生活利便性を確保するための取組を促進します。

(5) まちづくりの方向性

都市機能誘導区域においては、商業、金融、医療、高齢者福祉、児童福祉、小中学校等ほぼ充足されています。

このような地域特性を踏まえ、地区内の日常生活サービス施設の機能維持を目指し、商業、医療を誘導施設と位置づけ、地域社会をけん引する地域生活拠点として既存の機能を維持するとともに誘導施策を進めます。



5 庄内地区

(1) 目標

庄内地区は、西部エリアとして、豊かな自然と共生しながら交流を積極的に推進し、観光・レクリエーション資源を活用するエリアに位置づけており、安心して暮らせる居住環境の維持、霧島を活かした観光・レクリエーション機能の充実を目標としています。（都市計画マスタープラン）

【テーマ】

高千穂峰のすそ野で清らかな水と農を育む
地域まるごと景勝のまちづくり

(2) 拠点の位置づけ

農とみどりを中心とした田園居住地として、その個性を活かしながら、一定の利便性を確保することにより定住と滞在による複合的な田園居住地の維持を図る田園系生活拠点です。

さらに、庄内地区では、都城志布志道路の整備が進められており、地区内には乙房 I C（仮称）が設置される予定であるなど、生活利便性の向上が期待されます。

(3) 公共交通

東部には J R 日向庄内駅があり、東部と西部それぞれにバス路線が形成されています。

路線バスで対応が困難な地域については、支線交通の確保に向けた取り組みとして市民協働型のコミュニティバスが運行されており、更なる利便性向上に向けた検討を行います。

(4) 中山間地域対策

人口減少や高齢化が比較的進行している地域ですが、市を代表する観光地である関之尾滝や旧持永邸等の観光資源、景観資源を有しており、これらを活用し、地域住民も積極的にまちづくりに取り組んでいます。

本市の基幹産業である農林畜産業も比較的盛んな地域で、地元の農業者により優良農地や大規模な畜舎等も維持されていることから、今後もその地域特性を活かし、中山間地域対策を推進します。

また、買い物困難地区の救済措置として、買い物支援カーが運行されるなど、日常生活を送る上で必要なサービスが提供されているため、今後も地区全体における生活利便性を確保するための取組を促進します。

(5) まちづくりの方向性

都市機能誘導区域においては、都市機能誘導区域内に文化施設やその他の学校はありませんが、商業、金融、医療、高齢者福祉、児童福祉、小学校等ほぼ充足されています。

このような地域特性を踏まえ、地区内の日常生活サービス施設の機能維持を目指し、商業、医療を誘導施設と位置づけ、地域社会をけん引する地域生活拠点として既存の機能を維持するとともに誘導施策を進めます。

6 山之口地区

(1) 目標

山之口地区は、東部エリアとして、農畜産物の供給基地であり、また、固有文化、多くの遺跡・文化財の継承地に位置づけており、魅力ある健康・観光交流の拠点形成を図り、豊かな歴史文化を活かしたまちづくりを目標としています。（都市計画マスタープラン）

【テーマ】

個性的な伝統文化、史跡とめぐり合える 誇り高き歴史のまちづくり

(2) 拠点の位置づけ

農とみどりを中心とした田園居住地として、その個性を活かしながら、一定の利便性を確保することにより、定住と滞在による複合的な田園居住地の維持を図る田園系生活拠点です。

平成28年9月には山之口スマートICが開通し、また、山之口運動公園は、2026年開催の第81回国民体育大会を見据えて県立陸上競技場が整備予定であるなど、飛躍的に生活利便性・都市的魅力が向上しつつあります。

(3) 公共交通

JR山之口駅、JR青井岳駅があり、まちなかと山之口地区を繋ぐ路線バスが運行されています。さらに、JR山之口駅を交通結節点とした乗合バス、乗合タクシーが運行されています。

国道269号を軸にバス路線網が形成されており、更なる利便性向上に向けた検討を行います。

(4) 中山間地域対策

人口減少や高齢化が比較的進行している地域ですが、東部は鰐塚山系へと繋がる豊かなみどりに囲まれ、地区内には、山之口運動公園、あじさい公園、わにつか県立自然公園、青井岳温泉、麓文弥節人形浄瑠璃資料館等、市を代表する観光地や貴重な歴史文化資源があります。

特に麓地区には、武家屋敷等、石垣・生け垣の続く風情あるまちなみを現在も保っている地域があり、麓文弥節人形浄瑠璃等の伝統芸能を現在に伝える拠点となっており、このような観光資源、景観資源を活用したまちづくりに地区住民も積極的に取り組んでいます。

本市の基幹産業である農林畜産業も比較的盛んな地域で、地元の農業者により優良農地や大規模な畜舎等も維持されていることから、今後もその地域特性を活かし、中山間地域対策の推進を図ります。また、買い物困難地区の救済措置として、買い物支援カーが運行されるなど、日常生活を送る上で必要なサービスが提供されているため、今後も地区全体における生活利便性を確保するための取組を促進します。

(5) まちづくりの方向性

都市機能誘導区域においては、商業、金融、医療、高齢者福祉、児童福祉、学校等ほぼ充足されています。

このような地域特性を踏まえ、地区内の日常生活サービス施設の機能維持を目指し、商業、医療を誘導施設と位置づけ、地域社会をけん引する地域生活拠点として既存の機能を維持する誘導施策を進めます。



7 高城地区

(1) 目標

高城地区は、東部エリアとして、農畜産物の供給基地であり、また、戦略的振興拠点の形成に基づく雇用創出の拠点に位置づけており、主要幹線沿道に形成された生活拠点の維持や地理的特徴を活かした産業と物流の拠点性の強化を目標としています。(都市計画マスタープラン)

【テーマ】

個性的な伝統文化、史跡とめぐり合える 誇り高き歴史のまちづくり

(2) 拠点の位置づけ

農とみどりを中心とした田園居住地として、その個性を活かしながら、一定の利便性を確保することにより、定住と滞在による複合的な田園居住地の維持を図る田園系生活拠点です。

また、都城IC周辺は、戦略的振興拠点地域に位置づけられており、国道10号沿いを中心に産業物流機能を活かした工業団地等が整備されています。

(3) 公共交通

まちなかと高城地区を繋ぐ路線バスや、交通弱者や買物弱者の支援等を目的とする乗合バスが運行されており、更なる利便性向上に向けた検討を行います。

(4) 中山間地域対策

人口減少や高齢化が比較的進行している地域ですが、東部は鰐塚山系へと繋がる豊かなみどりに囲まれ、地区内には、高城運動公園、観音池公園、観音さくらの里温泉、高城郷土資料館、旧後藤家商家交流資料館等、市を代表する運動施設や観光地、貴重な歴史文化資源があります。

このような観光資源、景観資源を活用し、「旧後藤家商家のひな祭り」のような伝統文化を現在に伝えるイベントを開催するなど、地区住民も積極的に取り組んでいます。

本市の基幹産業である農林畜産業も比較的盛んな地域で、地元の農業者により優良農地や大規模な畜舎等も維持されていることから、今後もその地域特性を活かし、中山間地域対策の推進を図ります。

また、買い物困難地区の救済措置として、買い物支援カーが運行されるなど、日常生活を送る上で必要なサービスが提供されているため、今後も地区全体における生活利便性を確保するための取組を促進します。

(5) まちづくりの方向性

都市機能誘導区域においては、体育施設が遠隔地にあり、県立高城高校は区域外にありますが、商業、金融、医療、高齢者福祉、児童福祉、学校などほぼ充足されています。

このような地域特性を踏まえ、地区内の日常生活サービス施設の機能維持を目指し、商業、医療を誘導施設と位置づけ、地域社会をけん引する地域生活拠点として既存の機能を維持するとともに誘導施策を進めます。

8 山田地区

(1) 目標

山田地区は、西部エリアとして、豊かな自然と共生しながら交流を積極的に推進し、観光・レクリエーション資源を活用するエリアに位置づけており、安心して暮らせる居住環境の維持、霧島を活かした観光・レクリエーション機能の充実を目標としています。（都市計画マスタープラン）

【テーマ】

高千穂峰のすそ野で清らかな水と農を育む
地域まるごと景勝のまちづくり

(2) 拠点の位置づけ

農とみどりを中心とした田園居住地として、その個性を活かしながら、一定の利便性を確保することにより定住と滞在による複合的な田園居住地の維持を図る田園系生活拠点です。

商業施設等の身近な都市機能増進施設は、J R 谷頭駅周辺を中心に立地し、公共下水道等も整備されています。

(3) 公共交通

地区内に J R 谷頭駅があり、山田地区を経由して高崎地区へ延びる路線バスや山田総合支所や温泉施設等を結ぶ路線バス、さらに、庄内地区から J R 谷頭駅周辺へ市民協働型のコミュニティバスが運行されているなど、比較的広いエリアに公共交通網が形成されています。

このような地域特性を踏まえ、持続可能な地域公共交通網の形成に向けた方策を検討します。

(4) 中山間地域対策

人口減少や高齢化が比較的進行している地域ですが、霧島山系へと繋がる豊かなみどりに囲まれ、地区内には、山田温泉交流センター、かかしの里ゆぽぽ、山田運動公園、一堂ヶ丘公園等、市を代表する運動施設や観光資源があり、このような観光資源を活用したまちづくりに地区住民も積極的に取り組んでいます。

本市の基幹産業である農林畜産業も比較的盛んな地域で、地元の農業者により優良農地や畜舎等も維持されていることから、今後もその地域特性を活かし、中山間地域対策の推進を図ります。

また、買い物困難地区の救済措置として、買い物支援カーが運行されるなど、日常生活を送る上で必要なサービスが提供されているため、今後も地区全体における生活利便性を確保するための取組を促進します。

(5) まちづくりの方向性

都市機能誘導区域においては、区域内には金融施設、体育施設はありますが、文化施設や小中学校、その他の学校、地区公民館がなく、区域外の徒歩圏内に商業、医療、高齢者福祉、児童福祉等が立地しています。

このような地域特性を踏まえ、地区内の日常生活サービス施設の機能維持を目指し、商業、医療を誘導施設と位置づけ、地域社会をけん引する地域生活拠点として既存の機能を維持する誘導施策を進めます。



9 高崎地区

(1) 目標

高崎地区は、北部エリアとして、農畜産物の供給基地であり、また、小林方面からの北の玄関口に位置づけられており、主要幹線沿道に形成された生活拠点の維持や集積された健康・観光交流の拠点形成、豊かな自然環境を活かしたまちづくりを目標としています。

【テーマ】

たちばな天文台やレクリエーション機能を活かし、
美しい星空と田園の中で暮らすまちづくり

(2) 拠点の位置づけ

農とみどりを中心とした田園居住地として、その個性を活かしながら、一定の利便性を確保することにより、定住と滞在による複合的な田園居住地の維持を図る田園系生活拠点です。

(3) 公共交通

J R 東高崎駅、J R 高崎新田駅、J R 日向前田駅があり、まちなかから高崎地区を繋ぐ複数のバス路線網が形成されています。

さらに、交通弱者や買物弱者の支援等を目的とする乗合バス・乗合タクシーが運行されており、更なる利便性向上に向けた検討を行います。

(4) 中山間地域対策

人口減少や高齢化が比較的進行している地域ではありますが、良質な田園景観や自然環境に恵まれ、高崎総合公園、ラスパ高崎、たちばな天文台等、市を代表する運動施設や観光資源があります。

また、笛水地区では、住民主体で茅葺きの農産物直販所を開設し様々なイベントを開催しており、地域資源を活用したまちづくりに地区住民も積極的に取り組んでいます。

本市の基幹産業である農林畜産業も比較的盛んな地域で、地元の農業者により優良農地や大規模な畜舎等も多く維持されていることから、今後もその地域特性を活かし、中山間地域対策の推進を図ります。

また、買い物困難地区の救済措置として、コミュニティ助成事業による宅配サービスなど、日常生活を送る上で必要なサービスが提供されているため、今後も地区全体における生活利便性を確保するための取組を促進します。

(5) まちづくりの方向性

都市機能誘導区域においては、その他の学校がなく、体育施設は区域外にありますが、商業、金融、医療、高齢者福祉、児童福祉、学校等ほぼ充足されています。

このような地域特性を踏まえ、地区内の日常生活サービス施設の機能維持を目指し、商業、医療を誘導施設と位置づけ、地域社会をけん引する地域生活拠点として既存の機能を維持する誘導施策を進めます。

また高崎地区は、既存の総合支所庁舎を活用し、分散している行政機能を総合支所内に集約する「小さな拠点事業」に取り組んでおり、今後も機能集約等を誘導策として進めていきます。

10 西岳地区

(1) 目標

西岳地区は、西部エリアとして、豊かな自然と共生しながら交流を積極的に推進し、観光・レクリエーション資源を活用するエリアに位置づけており、安心して暮らせる居住環境の維持、霧島を活かした観光・レクリエーション機能の充実を目標としています。（都市計画マスタープラン）

【テーマ】

高千穂峰のすそ野で清らかな水と農を育む 地域まるごと景勝のまちづくり

(2) 拠点の位置づけ

農とみどりを中心とした田園居住地として、その個性を活かしながら、一定の利便性を確保することにより定住と滞在による複合的な田園居住地の維持を図る田園系生活拠点です。

(3) 公共交通

まちなかから西岳地区を繋ぎ、霧島神宮へ至る路線バスが運行されています。

このような地域特性を踏まえ、持続可能な地域公共交通網の形成に向けた方策を検討します。

(4) 中山間地域対策

人口減少や高齢化が比較的進行している地域ですが、高千穂峰の麓に位置し、御池、神々溝、高千穂牧場、千足川溪谷等、自然景観に優れた多くの観光資源があり、良質な田園景観や自然環境に恵まれた地区です。

「棒踊り」等、地元の伝統芸能も継承されており、地域資源を活用したまちづくりに地区住民も積極的に取り組んでいます。

本市の基幹産業である農林畜産業も比較的盛んな地域で、地元の農業者により大規模な畜舎等も多く維持されていることから、今後もその地域特性を活かし、中山間地域対策の推進を図ります。

また、買い物困難地区の救済措置として、買い物支援カーが運行されるなど、日常生活を送る上で必要なサービスが提供されているため、今後も地区全体における生活利便性を確保するための取組を促進します。

(5) まちづくりの方向性

西岳地区は、都市計画区域外に位置していることから、法的な区域設定が出来ないため、立地適正化計画上の具体的な検討は行いませんが、都市計画マスタープランでの田園系生活拠点として引き続き位置づけます。

今後、将来にわたり地域住民が暮らし続けることができるよう、生活サービスを維持・確保しながら「小さな拠点」の形成促進を検討していきます。